

石津議員（公明党）

令和元年9月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）備蓄食料の学校給食への活用について

食品ロスの観点や防災教育の側面から、備蓄食料を学校給食として活用する取組は有効であると思うが、教育長の考えを伺う。

（答）

本県では、学校給食における食品ロスにつきましては、重要な課題と認識しており、各学校等において食品ロスがなるべく少なくなるよう、具体的な対策について、研修会等の機会を捉えて、働きかけているところでございます。

各学校におきましては、気象警報の発表等により休校の可能性がある場合は、給食の献立をあらかじめ、根菜類や乾物など、日持ちのする食材に変更し、食品ロスを発生させないように、取り組んでおります。

また、各市町におきましては、防災教育の観点から、給食センターに備蓄したレトルトパックカレーを、防災の日の給食として提供したり、避難所用の備蓄食料を、防災キャンプの食事として活用するなどの取組が行われております。

県教育委員会といたしましては、食品ロスの削減の取組を、これまで以上に進めるよう、今後も好事例を収集し、市町教育委員会や学校への情報提供に努めてまいります。